

【参考】

「中国地域経済の概況 2022」の記載内容（主な項目）

< I 経済の概況 >

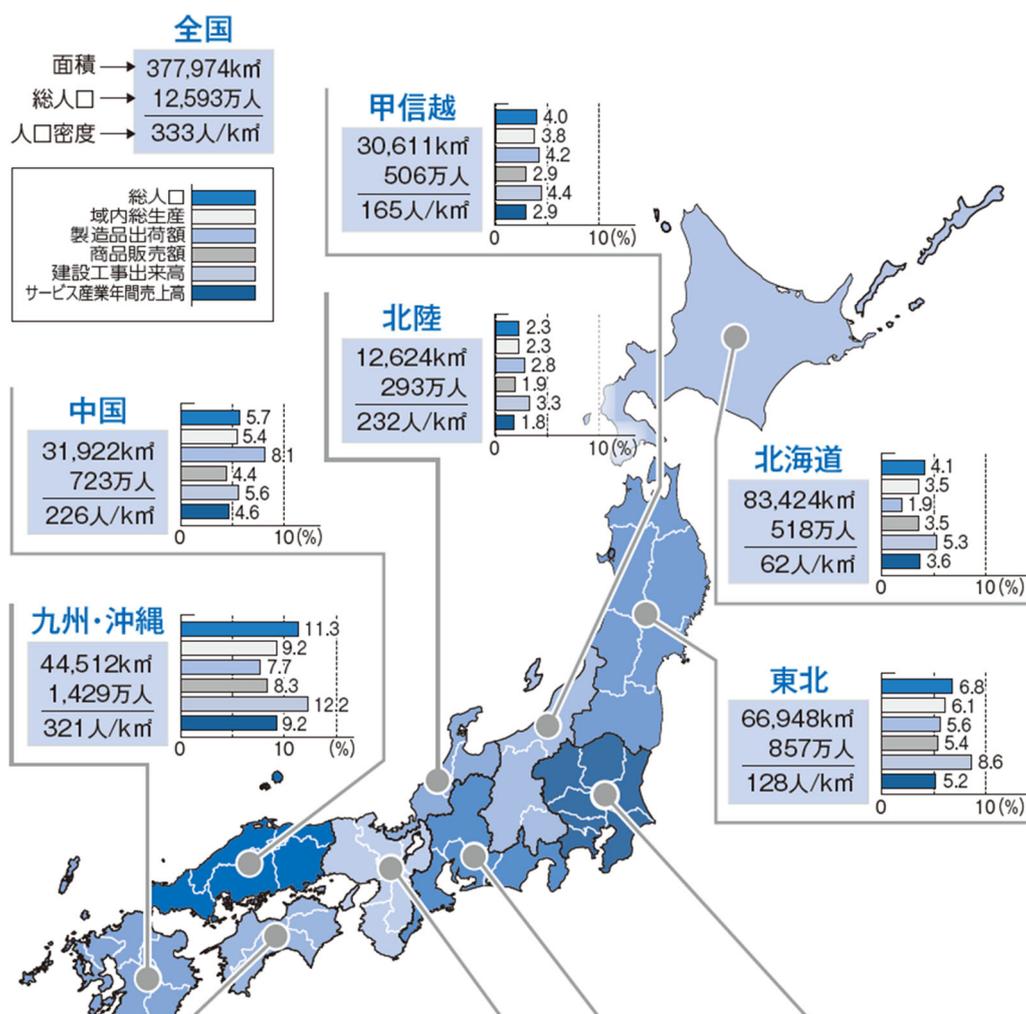
○2021年の中国地域経済

2021年の中国地域経済は、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の影響に加え、半導体不足や原材料価格の高騰等の影響もあり、景気の持ち直しは緩やかなものにとどまった。

○中国地域経済の特徴

中国地域の人口・経済規模の全国シェアは5%台であるが、製造品出荷額は8%超であり、ものづくりの拠点となっている。

【地域別の地域経済指標の全国シェア（一部抜粋）】



(注) 枠内は、上段：面積、中段：総人口、下段：人口密度

資料：国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、「経済構造実態調査」、内閣府「県民経済計算」、経済産業省「工業統計調査」、国土交通省「建設総合統計」

< II 分野別の概況 >

○人口

2021年の人口動態をみると、自然増減（出生－死亡）のマイナス幅が拡大したことなどから、人口の減少率は1995年以降で最大となった。相手先地域別の転出超過数は、新型コロナの流行前（2019年）に比べ、東京圏を中心に大幅に縮小している。

○観光

2021年の外国人延べ宿泊者数は、新型コロナの影響により引き続き国際移動が制限されたため8.1万人泊（前年比67.3%減）と、2007年の調査開始以来最低だった前年をさらに下回った。

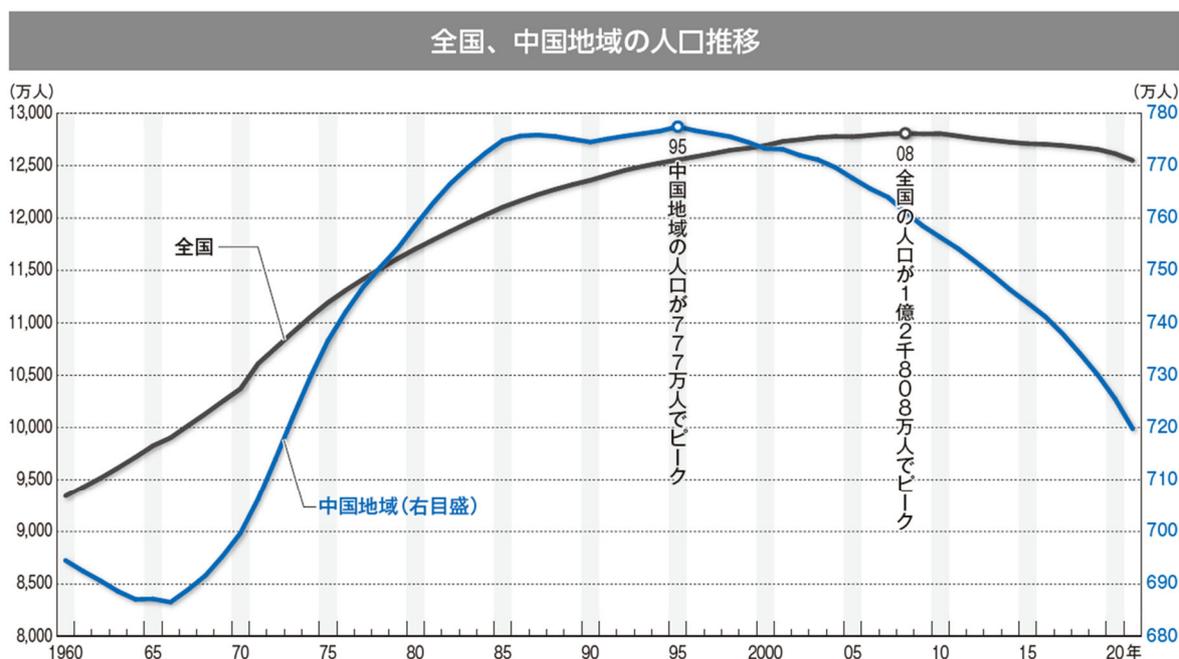
< III 地域振興の概況 >

○都市機能整備

広島市では、「旧広島市民球場跡地整備等事業」の着工など、都心の大規模開発に向けた動きがみられた。また総社市（岡山県）、山口市で市庁舎の建て替えが計画されているほか、出雲市（島根県）で新体育館の整備運営事業が進められている。

< V グラフで見る中国地域の長期推移 >

人口、経済・産業など主要統計について、長期的な経年変化をグラフで示している。



資料：総務省「国勢調査報告」「人口推計資料 日本の推計人口」「人口推計年報」、各県推計人口（2021年10月1日現在）

以上